



創立記念卓話

福島クラブを支えた人々

渡邊 又夫 会員 (在籍40年)



創立は終戦昭和26年(1951)1月創立、認証日の3月23日を創立記念日とし、登録番号は7734、会員は32名でした。創立については阿久津PGや今井吉之会員が詳細に述べているので、創立後64年に及ぶクラブの歴史を概観してみたいと思います。

クラブ設立後の9月、日本はサンフランシスコ講和条約を結び国際社会に復帰しましたが、それに先立って世界平和を標榜するロータリーに福島が加盟したことは先達の慧眼であり大いに誇っていいと思います。初代から3代会長を務められた岩永幾太郎先生は市民の誰もが知る大御所でありました。

約10年後北クラブが誕生しました。当時、クラブの地域割りは厳格で、路面電車の路線(駅東口～日銀前～明治病院/福島日産前～競馬場前)が境界でしたが、日本銀行と東邦銀行は福島クラブに残りました。前後して村上正徳氏が352地区(東北6県)ガバナーに就任されました。氏は1979年亡くなりますが、時の会長金子興志雄氏が述べた弔辞でそのお人柄が偲ばれます。「全会員に公平で慈しみ深く、また厳しい父親のような方で、物事の道理は明快でかつ説得力のある優れた指導者でした」。

74～75年度ガバナー大原嘗一郎先生は勲大原病院院長です。欧米事情に詳しく、米国加州のサンパナディーノRCとのロータリアン子弟による短期交換は約20年以上続きました。岩山会員は同市の高校卒業ですが、少子化が進み中断しました。合唱王国福島の祖である高野廣治氏(81～82年度会長)の欧米3度の演奏旅行を支え、また緑ヶ丘(現東稜)高校のIAの創設など青少年育成にも尽力されました。

今年で39回を数える東京交歓会は渡辺正之氏(74～75年度会長)の発案でした。「送別会でサヨナラは寂しい、東京で年1回集まろう！」との提案を受け、東京へ戻った富士銀行富田昭氏が奔走し、77年6月グランドパレスで開催しました。以来、他に類を見ない福島クラブの伝統行事として今も続いている訳です。

この頃、御倉町に日銀、興銀、富士の支店長宅が並んでいて、支店長交際費も当時たっぷりあったのか、良く酒を飲んだものです。特に渡辺正之氏と前郵政事務次官の神山文男氏(TUF初代社長)とは息が合っ、おでん「たこ実」の常連でした。当時、転勤となると盛大な送別会が開かれ、福島駅のホームに100人を超える人々が見送ったものです。在来線の日銀舟山氏が最後で、1982年新幹線が開通するとその慣行は直ぐになくなりました。

小生にとっては昭和2桁会の農林中金栗林氏や石原氏(共に副

理事長)、電電公社井上氏(NTT東社長)や、開かれた日銀を実践してくれた大浦氏、伊佐山氏、福島高校のラグビー部強化に尽力してくれた野村証券石井氏などいまでも交友が続いています。

田中善六(83～84)ガバナーは陸軍士官学校卒の軍人でしたが、正義感と慈愛に満ちた真に立派な方で、内外の多くの会員の尊敬を集めました。この度その(株)クラロンさんが極めて名誉ある賞を受けられたのも偏に田中氏の功德によるものです。R.Iに通じる方から、「田中氏がもし英語が話せたら、間違いなくR.I.会長になったであろう」と聞かされました。この田中氏と同じ誕生日で幼少からの親友だったのが中村忠司氏(84～85)。田中氏の剛に対して中村氏は柔で、幾つかの詩集を出された文人で、例会の会長スピーチは菊池四郎氏(民報副社長)が激賞しておりました。例会場が大町中合(現サンルートプラザ)から辰巳屋に移ったのもこの年度でした。

渡辺正之氏の良き相棒であった鈴木守氏(90-91/公認会計士)も文人でした。例会卓話に努力を払い、S.ウルマンの「青春とは」を紹介し、特別攻撃隊の基地を訪ねて涙ながらのスピーチ、後の名著「知覧に翔ぶ」は氏の面目躍如たるものでした。

平成に入りソ連邦とバブルの崩壊が始まりましたが、平成3年(1991)の創立40周年は盛大に挙行され、皇太子ご成婚の喜びとバブル余熱か、阿久津肇会長年度(平成5～6)には会員108名に達しました。

2000年、創立50周年(阿久津実行委員長)が開催され、半世紀に及ぶ福島クラブの栄誉を称えました。当該年度会長の木下隆氏(00～01 福島民友)はロータリーの奉仕を見事に具現し、後にクラブの名誉会員に推挙されました。この頃、興銀・富士・一勧の合併、信託銀行の撤退など金融再編の波が襲い会員の減少が始まりました。そのなかでも日銀安永氏の国際音楽祭開催の実践行動、NHK井原氏の阿武隈川浄化キャンペーンは地域に大きな刺激を与えました。

2002-03年阿久津肇ガバナーは東北一級河川のなかで最悪の阿武隈川汚染についてシンポジウムを開催、翌年あぶくま清流協議会を発足させ、10年に及ぶ様々な活動が実り昨今の美しい川に蘇りました。2003年の正月でした。渡辺正之氏葬儀の夜、親友鈴木守氏も追うように逝き、壮烈な二人の死に在京元ロータリアン多数が葬儀に参列しました。

2005年は国際ロータリー創立100周年でした。茂庭さくら百本植樹計画、比国マリキナRCとの双子締結がありましたが、バブル崩壊とデフレ不況の波は激しく、この頃から会員は80名を切り、しばらく会員増強の進まない歳月が続きます。そしてやがて、福島クラブは平成13年(2011年)創立60周年を迎えることとなります。

周到な計画と万全なりハーサルを繰り返し、3月24日の当日を待つばかりとなりました。ところが…嗚呼。(了)



# ロータリーの豆知識 第34回

## 福島ロータリークラブ百科

福島ロータリークラブは創立64周年を迎えました。会員として知っておくべきクラブの基礎知識をまとめましたので、座右に置いて頂ければ幸いです。

### 創立

昭和26年(1951年)1月1日創立 RI加盟承認昭和26年(1951年)3月23日東京RCと仙台RCのスポンサーにより、世界で7734番目、日本で53番目、東北で5番目(郡山RC仙台RC盛岡RC山形RCに次いで)、福島県内で2番目に誕生。同年3月23日にRI認証。特別代表柏原孫左衛門(東京RC)佐々木孝三郎(仙台RC)チャーターメンバーは32名。  
※創立時の会員数には諸説あり。

### 伝統のクラブ旗

登録番号7734 昭和26年に全国で20クラブが創立されたが、この年6月限りで新設クラブに付与していたRIの登録番号が廃止された。福島県内でRI登録番号を持つクラブは福島と郡山の2クラブのみ。昭和26年に登録番号を付与された日本国内のクラブは12、福島クラブの前後は、水戸RC(7724)、長浜RC(7735)。

### クラブバナー

福島の象徴「吾妻小富士」と県花「ネモトシャクナゲ」を図案化

### スポンサーを務めたクラブ

飯坂(19586/5)・二本松(19623/9)・福島北(19633/11)相馬(19646/8)保原(19656/24)会津坂下(19673/18)福島南(19714/8)川俣(19808/12)福島西(19841/30)福島中央(19906/4)の10クラブ

### クラブ名の表記

現在は、「福島ロータリークラブ」が正しい。「福島ロータリー・クラブ」は旧表記。  
※2013年10月10日付国際ロータリー日本語課よりの「標題に関する中黒(・)の使用方針変更」の通達による。

### 歴代会長の数

初代の岩永幾太郎会長(※1950-53年度まで3期会長を務める)から2014-15年度丹治会長まで63人の会長。当クラブでは、「第〇〇代会長」との呼称は用いないのが慣例。

### オリジナルのクラブソング

福島クラブでは、クラブ創立20周年(1971年)に、クラブの歌として昼の例会用と、夜の懇親会用の二曲を作ることになり歌詞を募集しました。その1つが西形政次会員(福島西・西形会員の父君)の「福島ロータリーの歌」であり、他の1つが中村忠司元会員の「どんと行こうよロータリー」で、それに高野廣治会員(たかのこうじ、1981-82年度会長、1985-86年度分区代理)が曲をつけたのです。曲の趣から「福島ロータリーの歌」は昼の例会で、「どんとゆこうよ」は夜の例会で歌うことになりました。作曲者の高野廣治さんは福島高商(現福大経済)卒の全くのアマチュアでありましたが、独学で学び、自らFMC混成合唱団を主宰し、やがて全日本合唱コンクールにおいて金賞または1位13回という前人未到の偉業をなしとげ、合唱王国福島の基礎を作った方です。「福島ロータリーの歌」

は、毎月の最終例会で歌うことが慣例となっています。

### 歴代ガバナー

村上正徳(1963-64) 大原菅一郎(1974-75)  
田中善六(1983-84) 阿久津 肇(2002-03)

### 歴代分区代理

小泉武雄(1973-74) 田中善六(1979-80)  
高野廣治(1985-86) 遠藤辰一郎(1987-88)  
阿久津 肇(1995-96) 脇屋隆治(1997-98)  
白岩康夫(2000-01)

### 歴代ガバナー補佐

八子英器(2004-05) 渡辺健寿(2011-12)

### インターアクトクラブ

福島東稜高等学校インターアクトクラブ  
1971年(昭和46年)12月11日発会。

### ローターアクトクラブ

福島学院大学ローターアクトクラブ  
1986年(昭和61年)5月14日発会。

### 双子クラブ

双子クラブのきっかけは、阿久津ガバナー年度のRIスローガン「慈愛の種を播きましょう」により国際奉仕委員会加藤義朋委員長のもと、2002年10月にGSE3800地区フィリピンメトロマニラ地区を受け入れました。その時のRI3800地区ガバナーエフレン・グスマン氏との友情により、ロータリー100周年(2005年)記念事業としてマリキナRCとの双子クラブ締結となりました。その後2004年11月21日、渡邊又夫会長・佐藤英典国際奉仕委員長により双子クラブとして、十分な教育を受けられない子供たちへの支援事業を推進する協定書を交換したのが始まりで、平成25年で双子クラブ3回目の更新調印を済ませました。

### 東京交歓会

福島RC独自の行事。当クラブは土地柄、中央金融機関や電力、通信会社の支店長が多く入会されることから、転勤で東京に戻られた元会員が多く、そうした方々との絆を大切にするために、当時の渡辺正之会長(1974-75年度)らを中心に始められ、37年の歴史を刻んで参りました。第1回開催は1977年(昭和52年)6月18日、ホテルグランドパレス。平成23年の第35回は東日本大震災により中止。平成27年の第38回は初の金曜日開催の予定。

### マスコミ懇談会

2002-03年度河田 亨会長年度に立ち上げられた当クラブ独自の行事で、地元メディアと福島RCとが、一年に一度懇談会を開催して、当クラブの活動や行事内容等をお知らせし、地元メディアにロータリー活動の理解を深めて頂くと共に、一般市民へのロータリー活動の広報を通じて、よりロータリー活動を広めるために開催しており、今年で13年目を迎えます。

### TENの会

転勤族の会員と地元会員との懇親を深める目的で2009-10年度佐藤英典会長の発案、松井敏彦会員の声掛けにより、「十年一日でありたい」「天まで届くように」との思いを込め、転勤族の「転」をもじり、「TENの会」が発足、発足会は平成22年3月29日に開催されました。平成27年には5年目を迎えます。

(文責/丹治正博)

# 私のひとこと

金子與志人 会員



## 家族旅行

の初海外に行ってきました。週末を利用してグアムへ三泊四日の行程でしたが、寒い福島を離れやや暑すぎるくらいの現地であつたと言ふ間を過ごすことが出来ました。やることと言えば、マリンスポーツと食べることにしかない訳ですが、パラセーリング、バナナボート、ジェットスキー、シュノーケリングなど、もう二度と経験しないことをやって来た次第です。帰国後妻から一言「南国で生活すると更年期障害がないらしい」。

…どんな意味があつての発言なのか？

四月から子供達の部活等が忙しくなると言われ熟考した結果、家族旅行



## 例会次第

- 開会点鐘 丹治正博 会長
- ロータリーソング「福島ロータリークラブの歌」  
ソングリーダー 菅野 晋 会員
- 「四つのテスト」唱和 菅沼 裕 会員
- お客様並びに来訪ロータリアン紹介
- 会長挨拶 丹治正博 会長
- 退会挨拶 緒方啓道 会員  
(中丸裕史会員、佐藤智英会員、両名転勤にて退会されます)
- ガバナー補佐挨拶 久米允彦 ガバナー補佐
- 招待クラブ代表挨拶 福島中央RC 箭内一典 会長
- 各委員会報告
- プログラム・ニコニコBOX小委員会  
ニコニコBOX担当 右近八郎 委員
- ◎本日のプログラム
- 閉会点鐘 丹治正博 会長



## \* 懇親会 \*

- 司会／親睦R家族委員会委員 相良元章 会員
- 開会
- アトラクション “箏”演奏  
題／「讃歌」 奏者／田沼琴絵 様
- 乾杯 阿久津肇 巴ストガバナー
- 懇親
- 「手に手つないで」
- 閉会 古侯 猛 副会長

## お客様並びに来訪ロータリアン紹介

- 奏者 田沼 琴絵 様 (田沼会員ご息女)
- 県北第一分区 ガバナー補佐 久米 允彦 様
- 〃 幹事 山村 忠広 様
- 〃 幹事 佐藤 慶行 様
- 二本松ロータリークラブ 会長 野地トヨ子 様
- 〃 幹事 菅野 京一 様
- 福島南ロータリークラブ 会長 高橋 勇雄 様
- 〃 幹事 吉田 和義 様
- 福島西ロータリークラブ 会長 高梨 哲男 様
- 〃 副幹事 富塚 新吉 様
- 福島中央ロータリークラブ 会長 箭内 一典 様
- 〃 幹事 丹野 良一 様
- 二本松あだたらロータリークラブ 会長 秋山 和久 様
- 〃 幹事 齋藤 勝美 様

## ニコニコBOX報告

〈報告〉 緒方啓道 委員

本日のニコニコBOX投入額 23件 ¥60,000 累計 ¥2,013,000

○他に／勢島 昇／菅野晴隆／内池 浩／後藤洋伸／加納武志／古侯 猛／八子英器／今井理基夫／氏川守義／金子與志人／相良元章／八巻 一

○坪井大雄 幹事  
このたび会長が「神職身分一級」に昇進され、神社本庁での授与式では全国三十四名の総代をつとめられました。おめでとうございます。

○県北第一分区 久米允彦 ガバナー補佐  
分区幹事 山村忠博様 佐藤慶行様  
二本松RC 野地トヨ子 会長  
福島南RC 高橋勇雄 会長  
福島南RC 吉田和義 幹事

○田沼紀美子 会員  
創立六十四周年、おめでとうございます。本日は、娘がお世話になります。よろしくお願ひ致します。

○茂田士郎 会員  
思えば四年前の今日創立六十周年記念大会を開く予定でした。三・一一の大震災でそれが中止となり準備実行委員の方々は招待状の取消し、試食までした食事の取消など、大変な作業が続きました。

○緒方啓道 会員  
四月より、大分へ赴任することとなりました。当クラブの皆様との数々の思い出を抱き、九州の地で頑張つて参ります。大変お世話になりました。ありがとうございます。

○丹治正博 会長  
創立六十四周年記念例会にあたり、久米ガバナー補佐を始め、分区幹事様、第一分区の会長、幹事様のご臨席を心から歓迎致します。またご栄転される五名の皆様方の前途のご多幸を会員一同お祈り申し上げます。